

蓮田市長 中 野 和 信 様

蓮田市社会資本整備総合交付金（都
市再生整備計画事業）評価委員会
会 長 奥 沢 信 男

社会資本整備総合交付金の事後評価について（答申）

平成 3 0 年 1 2 月 2 5 日付け都計第 2 4 4 号で諮問のあった、蓮田市閩戸貝塚周辺
地区について、下記のとおり答申します。

記

審議事項		委員会の意見
(1)事後評価 評価手続及び 都市再生整備 計画の目標の 達成状況の 確認等の結果 について	方法書	妥当である。
	成果の評価	妥当である。 ・指標1「公共施設等の利用者数の増加」、指標2「レクリエーション施設へのアクセス環境の満足度」共に目標値を上回る成果であった。市民待望の今までになかった文化・芸術活動の周辺施設が整備され利用しやすい施設が完成出来た。 ・幹線道路(市道 16 号線)からアクセス道路(市道 48 号線)が完成し、北部方面からの充実が評価できる。 ・設定した目標を達成しており、本事業が有益であったことを読み取ることができる。この効果が持続的に発現され続けるよう施設の維持管理、イベント等の開催に努めること。 ・特定のイベントに合わせ、バスの通常運行以外に臨時シャトルバスの運行が始まり、総合市民体育館(パルシー)や総合文化会館(ハストピア)利用者の利便性が向上している。
	実施過程の評価	妥当である。 ・事業関連課との調整により一部完了は出来ないものもあったが、実施期間中に大部分完了したのは評価できる。 ・当初から設定されていなかったが、公共施設等の持続性担保の上でも住民の協力等は必要不可欠であり、今後は住民参加プロセスやまちづくり協議会等の設置について検討すること。

	効果発現要因の整理	妥当である。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当である。 ・原案について、広報、web 等で公表しており妥当である。 ・意見については出されなかったが、市ホームページの閲覧が期間中 63 件あったことは確認できた。市民の方には事後評価が難しく意見が寄せにくいのかもかもしれない。工夫が必要と感じる。
	その他	・「蓮田市中心市街地地区」とともに、市内2か所で都市再生整備計画事業を実施できたことは評価が高い。 ・今回「有識者からの意見聴取」の資料がとても分かりやすく、目標の達成状況の確認がしやすかった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当に進められたと確認した。
(2)今後のまちづくり等の内容の妥当性について	今後のまちづくり方策の作成	妥当である。 ・総合市民体育館(パルシー)や総合文化会館(ハストピア)を中心に、周辺の河川緑地や田園景観を生かして、芸術、文化、スポーツ、レクリエーション、観光、交流の拠点として着実に整備していくことが必要である。 ・これからも文化・芸術活動の施設拠点として多くの市民や周辺地域の方にも利用しやすい施設環境や公共交通機関(バス)、アクセス道路の利便性を期待する。 ・今後の課題としている市民組織(ハストピアサポーターズ)との協働について実現すること。 ・郊外部の施設であり、公共交通機関(バス)でのアクセス向上に向け、サービス密度向上に向け交通事業者等と検討を行うことが望ましい。 ・整備された公益施設等の稼働率アップ(持続的担保)に向け検討を行うこと。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であると確認した。
(3)その他		地域によっては一度公共交通アクセスポイントであるJR蓮田駅に行き、そこから公共交通機関(バス)を利用する状況である。他のバス路線との乗り継ぎ場所や他のバス路線の停留所からの歩行者アクセス道路の整備が必要である。